

海外サプライチェーン多元化等支援事業（第8回公募） （実証事業、事業実施可能性調査事業）〈概要資料〉

第8回公募：2023年5月22日受付開始

公募要領等（JETROウェブサイト）：<https://www.jetro.go.jp/services/supplychain/info-8.html>

1. 申請要件

日ASEANのサプライチェーンの強靱化・最適化に貢献する事業であること、また過去の同様の事業に比べ、事業内容、分野、技術等に十分な差異があり、実用に向けた技術的課題、またはビジネス上の課題が明確であること、日本国内の生産設備の縮小をもたらすものではないこと等

類型1：製品開発型（ものづくり型）

日本とASEANのサプライチェーン強靱化に資するべく、製品・部素材等の生産拠点の多元化に向け、試験的な設備の導入、試作機の開発、及びこれらを実施するための設計・開発等の実証を行う他、生産設備の本格的な導入に向けた事業可能性の調査を行うもの。

類型2：バリューチェーン高度化型

日本とASEANのサプライチェーン強靱化に資するべく、ICT・ブロックチェーン・AI等のデジタル技術も活用しつつ、生産・調達・物流・サービス提供等の国際的バリューチェーンの高度化に向け、試験的な設備の導入、試作機の開発、モデル事業の実施及びこれらを実施するための設計・開発等の実証を行う他、生産・調達・物流等のシステムの本格的な導入に向けた事業可能性の調査を行うもの。

2. 補助対象、補助上限額、補助率

補助対象：日本に拠点及び法人格を持ち、日本における事業実態を有している民間事業者・団体

補助上限額：実証事業 1,000万円～2億円、事業化可能性調査事業：100万円～5,000万円

補助率：大企業 1/2以内、中小企業 2/3以内

3. 公募日程

2023年5月22日（月）	公募開始
6月23日（金）17時	応募締切
8月下旬頃	採択発表（予定）

支援対象となる事業イメージ

類型1：製品開発型（ものづくり型）

【実証事業の例】

○特定国、特定地域に産出や生産が集中している原材料や加工物について、他の原材料や加工物を用いた試作品を製造、又はその生産設備のパイロットプラント（製品を商品化・量産化する前に、製品の品質や生産方法等について試験・評価を行うための設備）を建設し、試行的に生産・加工を行うことで、当該原材料等の安定的な供給に向けた技術面・コスト面等の課題を抽出し、将来の本格的な生産・加工設備の導入を目指すもの。

【事業実施可能性調査事業の例】

○特定国、特定地域に生産が集中している部素材について、他国での生産拠点の拡大に向け、生産から販売までの事業化の実現において必要となる事業実施体制の検討や販売先市場の動向、競合他社の動向等の把握、他社との差別化の検討等に係る情報収集・調査・分析等を行うもの。

類型2：バリューチェーン高度化型

【実証事業の例】

○国際物流における製品の位置情報や在庫情報、決済情報等をデジタル技術にて一括管理、物流の効率化と途絶リスクの軽減を図るべく、試験的に事業を実施することで効果の検証を行い、将来の本格的なシステム導入を目指すもの。

○従来は書面で行っていた貿易手続その他越境取引に係る各種手続について、デジタル技術を活用して効率化を図るべく、試験的にシステムを導入し課題の抽出を図るもの。

○グループ企業内外でのクロスボーダーな部品調達・設計・組立等に係るデータ管理プラットフォームを構築、緊急時の物流途絶を避けつつ生産性の向上を図るべく、システム導入に向けた技術面・コスト面での課題を抽出し、将来の本格的なシステムの導入を目指すもの。

【事業実施可能性調査事業の例】

○海外の生産拠点からの部品調達や組立等に係る社内データベースの構築に向け、実施体制・導入システムの検討やコスト分析等に係る情報収集・調査・分析等を行うもの。

○医療物資や医薬品等の国際的な流通管理や受発注業務の見える化をデジタル技術を活用しつつ実現、サプライチェーンの強化を図るべく、こうしたビジネスモデルの可能性について情報収集・調査・分析等を行うもの。